

DRF 第 73 号

平成 27 年 10 月 27 日

デジタルリポジトリ連合参加機関

参加機関の長 殿

デジタルリポジトリ連合運営委員長

北海道大学附属図書館長

新田 孝彦

[公印省略]

平成 27 年度機関リポジトリ担当者オンラインワークショップ

「研究データから研究プロセスを知る」の開催について（通知）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

デジタルリポジトリ連合（Digital Repository Federation）（以下、「DRF」という。）は、複数大学・研究機関のご協力の下に平成 18 年度に発足し、機関リポジトリの構築と運営に係る人材育成、技術開発、情報共有を通じて、国内における機関リポジトリの発展とオープンアクセス思潮の興隆につとめています。

このたび、人材育成事業の一環として、標記ワークショップを別添実施要領の通り開催する運びとなりましたので、お知らせします。

貴機関職員の参加について、よろしくお取り計らいくださるようお願い申し上げます。

この件に関するお問い合わせ先

デジタルリポジトリ連合事務局

住所： 〒060-0808

札幌市北区北 8 条西 5 丁目

北海道大学附属図書館学術システム課内

電話番号： 011-706-2524

電子メールアドレス： jsa@lib.hokudai.ac.jp

平成 27 年機関リポジトリ担当者オンラインワークショップ 「研究データから研究プロセスを知る」実施要領

1. 目的

研究者が日ごろの研究で扱うデータにどのようなものがあるのか調査することで、機関リポジトリでデータを扱おうとする担当者の一助とする。さらに、データをきっかけとして研究プロセスを詳細にヒアリングすることにより、研究プロセスに即したサービスを円滑に提供できるようにする。

2. 受講対象者

所属機関で機関リポジトリに係る実務を担当している方

3. 主催

デジタルリポジトリ連合

4. 日程・人数

日時： 平成 27 年 11 月 18 日（水）～2 月末

人数： 20～30 名程度

※ メール、勉強会専用メーリングリストを利用したオンライン勉強会です。3 か月の間メールでやりとりをしますが、集合した研修はありません。

5. 事前課題

参加者はワークショップ開始までに以下の文献にお目通しの上、ご参加ください。

- ・内閣府国際的動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討会「我が国におけるオープンサイエンス推進のあり方について～サイエンスの新たな飛躍の時代の幕開け～」

<http://www8.cao.go.jp/cstp/sonota/openscience/index.html>

- ・文科省学術情報委員会「学術情報のオープン化の推進について（中間まとめ）」

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2015/10/06/1362565_1.pdf

6. プログラム

11 月 18 日（水） ～12 月 4 日（金）	<ul style="list-style-type: none">・ DRF-wiki の「研究者へのインタビューコレクション」と RDM Rose 2015, Session2-Research Data Services, 6. Interviewing a researcher を参考に、分野ごとにインタビュー項目を作成する。・ 各参加者でインタビューする研究者の候補を複数挙げ、グルー
------------------------------	---

	プ内で研究者の専門が重複しないよう調整の上、インタビュー候補者を決定する。
12月1日（火）～ 2月1日（月）	・研究者にインタビューを行う
2月2日（火）～2 月29日（月）	・分野ごとにインタビューの結果をまとめ、成果物を DRF-wikiで公開する。

※ 講義形式の研修ではなく、参加者相互の情報共有を目指したワークショップです。
成果物は全体に報告します。

※ 参加者には、場合によってはファシリテータをお願いすることがあります。

7. 申込

以下の申込フォームよりお申し込みください。（先着順）

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?onlineworkshop2015>（DRF-Wiki > これからの催し > 平成 27 年度機関リポジトリ担当者オンラインワークショップ「研究データから研究プロセスを知る」をクリック）

※申込期間：平成 27 年 10 月 30 日（金）～11 月 13 日（金）

なお、定員を超えた場合は、DRF 参加機関を優先させていただきます。

参加可否につきましては、申込者に DRF から通知いたします。

8. その他

- ・ 本ワークショップの内容は、後日、drf メーリングリスト、月刊 DRF などでも報告します。参加者には、報告書の作成にご協力いただきます。
- ・ 本ワークショップで作成した成果物は、DRF ウェブサイトにて公開します。
- ・ 参考資料

内閣府国際的動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討会「我が国におけるオープンサイエンス推進のあり方について～サイエンスの新たな飛躍の時代の幕開け～」

<http://www8.cao.go.jp/cstp/sonota/openscience/index.html>

文科省学術情報委員会「学術情報のオープン化の推進について（中間まとめ）」

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2015/10/06/1362565_1.pdf

RDM Rose 2015, Session2-Research Data Services, 6. Interviewing a researcher

http://rdmrose.group.shef.ac.uk/?page_id=1061

DRF-wiki 「研究者へのインタビューコレクション」

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?OAWeek%202010#pa6453c5>

以上